



2024年3月期 第2四半期決算説明資料

株式会社 フォーラムエンジニアリング
(東証プライム : 7088)



- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- 配当政策の変更、および株式分割について
- 【連結】2024年3月期 第2四半期 決算概況
- 各サービスの状況
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- Appendix

- **資本コストや株価を意識した経営の実現について**
- 配当政策の変更、および株式分割について
- 【連結】2024年3月期 第2四半期 決算概況
- 各サービスの状況
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- Appendix

経営課題

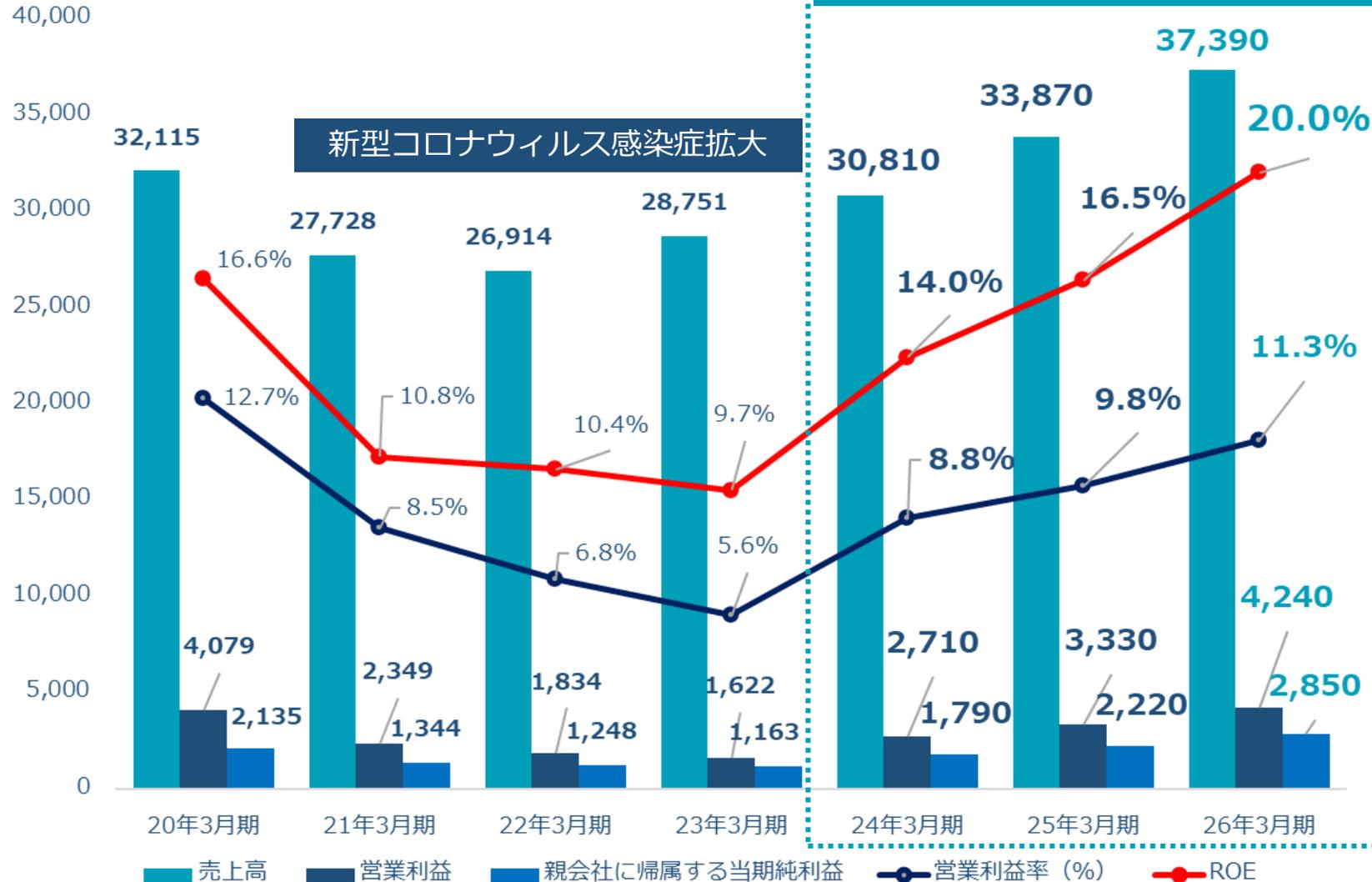
● 企業価値（株価・時価総額）の向上が経営上の重要課題

方針

- ① cognavi Vision2026（営業利益率11.3%、ROE20.0%）の達成
- ② 注力事業への集中と成長投資の実施
- ③ 株主還元として、「安定配当」「継続的な増配」の実現

中期経営計画にROEの目標を追加、3年目にROE20%超えを目指す

金額単位：百万円



- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- **配当政策の変更、および株式分割について**
- 【連結】2024年3月期 第2四半期 決算概況
- 各サービスの状況
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- Appendix

今期注力事業のコグナビ派遣、コグナビ新卒が計画を上回り、財務体質も良好なことから、株主還元として増配を実施。さらに中期経営計画の期間中は、累進配当を導入。

12月1日に株式分割を実施する

【増配】

配当予想の修正

期末配当予想：1株あたり ^(前回予想) 60円 **5円増配** 65円
(下記の株式分割換算後：32.50円)

ご参考 2025年3月期：80円（計画） 2026年3月期：100円（計画）
(下記の株式分割換算後：40円) (下記の株式分割換算後：50円)

【累進配当】

配当方針の変更

中期経営計画（cognavi Vision2026）期間において累進配当を導入

原則として「減配なし、配当維持もしくは増配を行う」とする配当政策
配当性向は従来通り60%以上を維持

【株式分割】

1株につき2株の割合で株式分割

2024年以降、新しいNISAが導入されることも踏まえ、
2023年12月1日付で株式分割を実施し、当社株式に投資しやすい環境を整える

- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- 配当政策の変更、および株式分割について
- **【連結】 2024年3月期 第2四半期 決算概況**
- 各サービスの状況
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- Appendix

業績予想に対する進捗は順調に推移

前年同期比は、売上高+8.4%、営業利益+278.1%と増収増益

(単位：百万円)

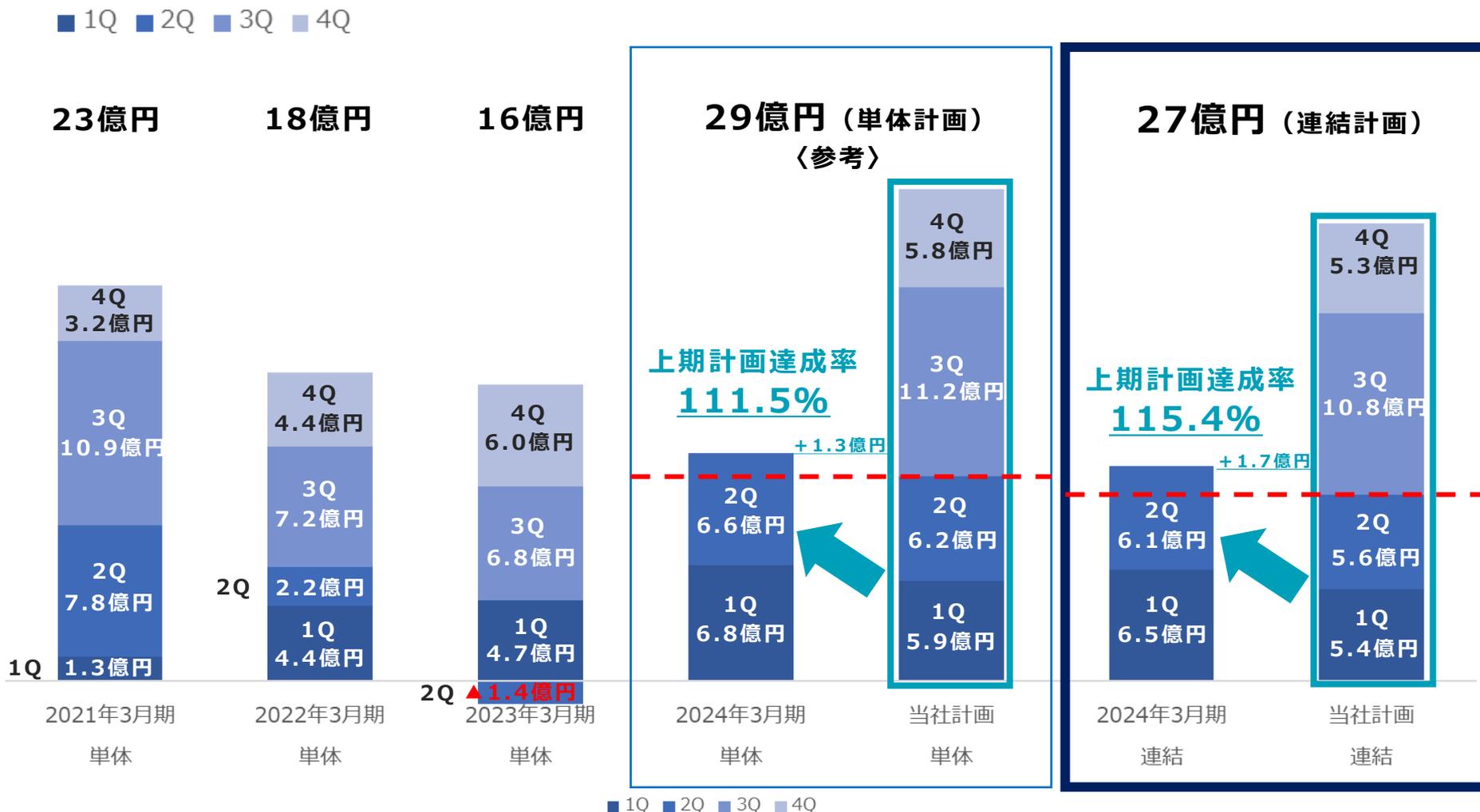
	【連結】		【参考/単体】	
	2024年3月期 第2四半期実績	通期業績予想比較 通期業績予想 進捗率	2023年3月期 第2四半期実績	【参考】前年同期比較 増減額 前期比
売上高	15,304	30,810 49.7%	14,112	+1,191 +8.4%
売上総利益	4,458		4,070	+387 +9.5%
売上総利益率 (%)	29.1%		28.8%	+0.3%pts +1.0%
販管費	3,181		3,733	△551 △14.8%
営業利益	1,276	2,710 47.1%	337	+939 +278.1%
営業外収支	△1		△7	+6 △85.9%
経常利益	1,275	2,680 47.6%	329	+945 +286.6%
特別損益	0		0	+0 △100.0%
税引前利益	1,275		329	+945 +286.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	856	1,790 47.8%	224	+631 +281.7%

【各社別】2024年3月期 第2四半期 決算概況

引き続き、フォーラムエンジニアリング単体の業績が好調
インド事業は、会員数や企業が増加し、早期収益化に向け加速

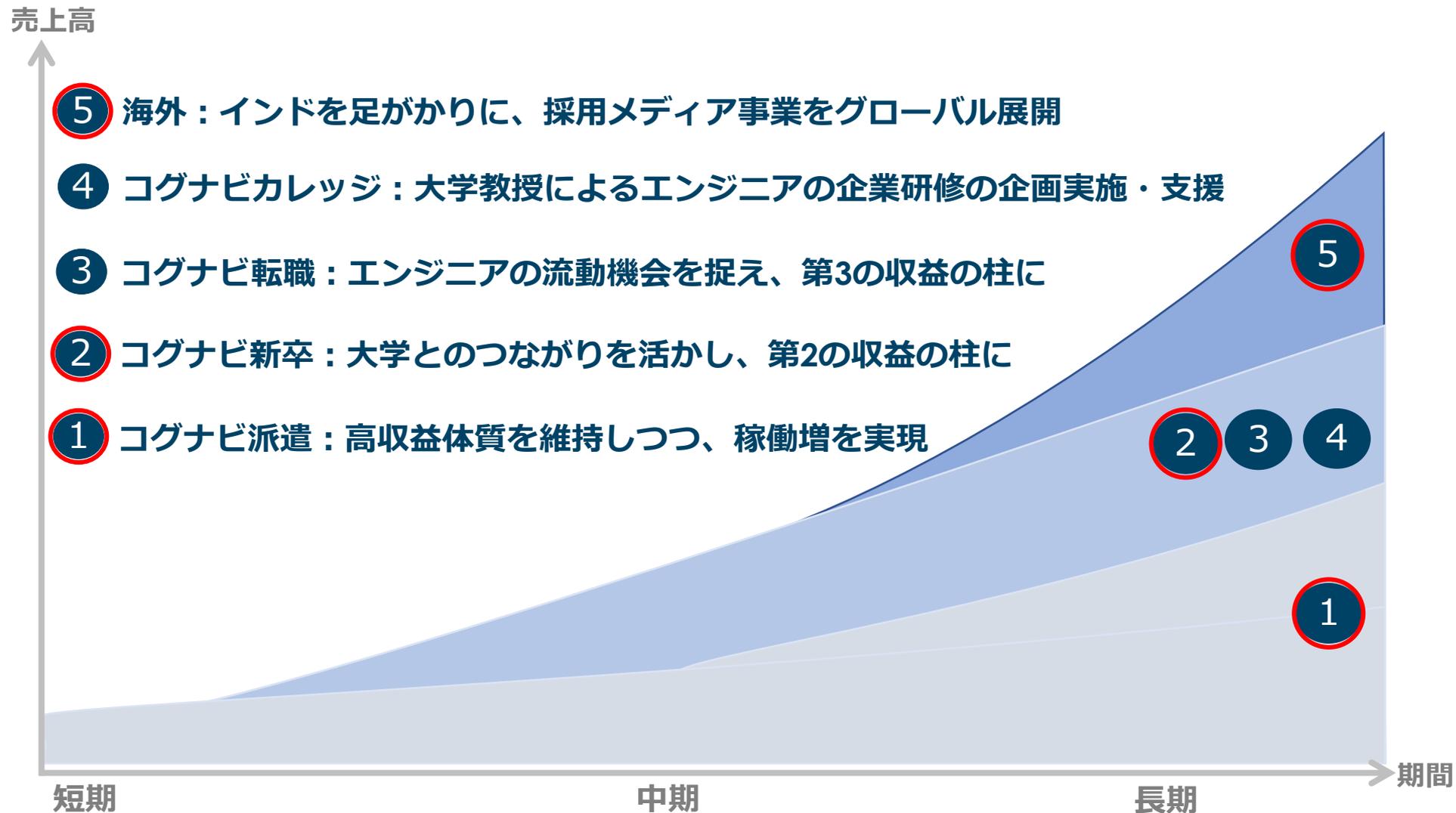
(単位：百万円)		2024年3月期 第2四半期実績	通期業績予想比較		2023年3月期 第2四半期実績	【参考】前年同期比較	
			通期業績予想	進捗率		増減額	前期比
フォーラム エンジニアリング	売上高	15,304	30,760	49.8%	14,112	+1,191	+8.4%
	営業利益	1,352	2,920	46.3%	337	+1,015	+300.7%
コグナビ インド	売上高	0	50	0.0%	-	-	-
	営業利益	▲ 76	▲ 200	38.1%	-	-	-
合計	売上高	15,304	30,810	49.7%	14,112	+1,191	+8.4%
	営業利益	1,276	2,710	47.1%	337	+939	+278.1%

派遣事業における利益構成比は下期が高く、通期に対する進捗率は50%を下回るが、
上期の営業利益計画に対する達成率は115.4%と高水準で着地



- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- 配当政策について
- 【連結】 2024年3月期 第2四半期 決算概況
- **各サービスの状況**
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- Appendix

今期はコグナビ派遣、コグナビ新卒、海外事業に注力



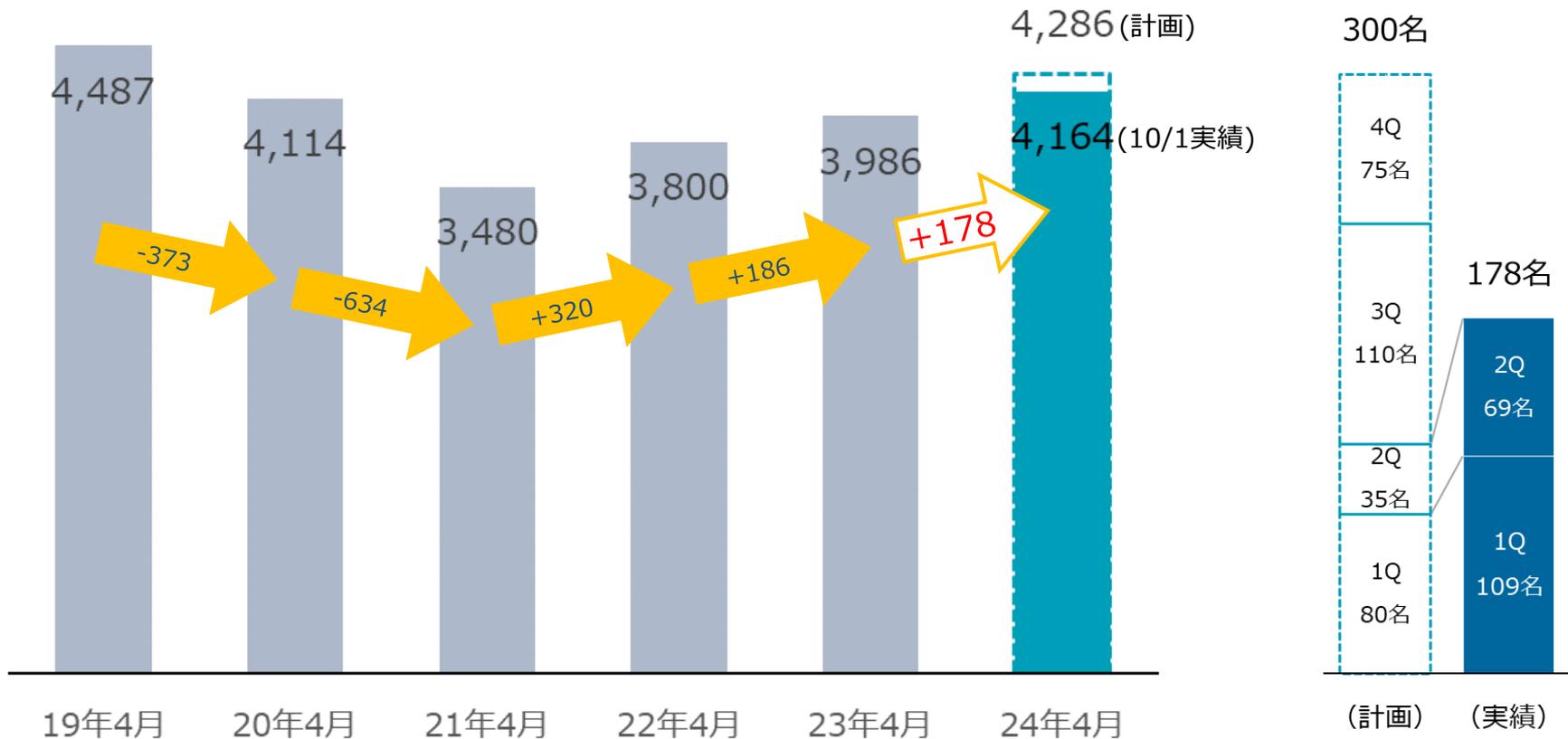
- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- 配当政策の変更、および株式分割について
- 【連結】2024年3月期 第2四半期 決算概況
- **各サービスの状況**
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- Appendix

① 【稼働人数】

2Q計画35名増に対し、実績69名増。上期累計計画115名増に対し、実績178名増。
どちらも計画を大きく上回る

稼働人数

稼働人数増分

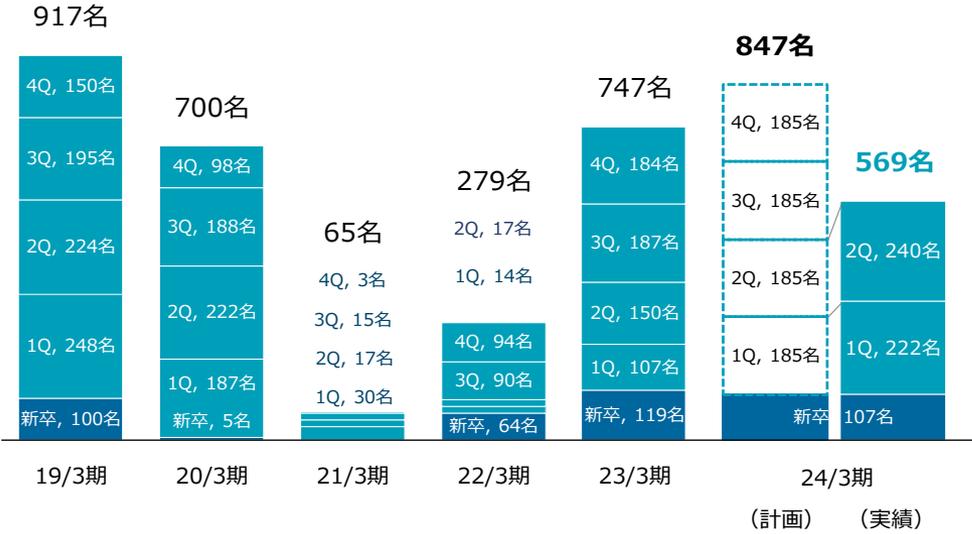


注* 各期における期初時点 (4月始め) の数字

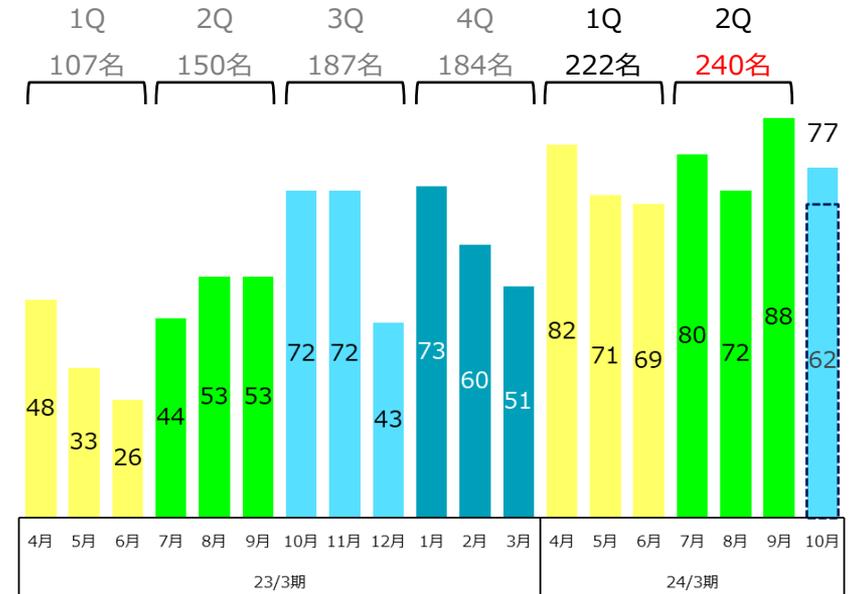
① 【エンジニア採用数】

2Q計画185名に対し、実績240名。10月も77名と順調に推移

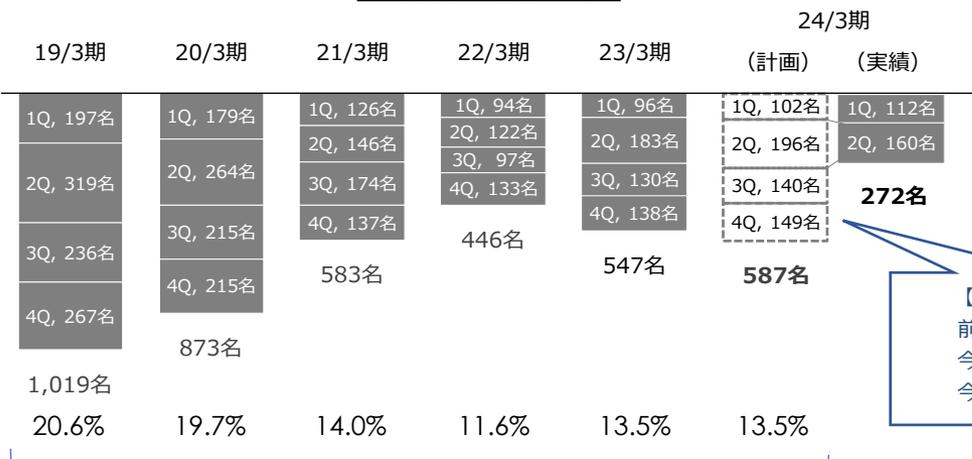
採用数（期別）



採用数（四半期別・月別）



退職数（期別）

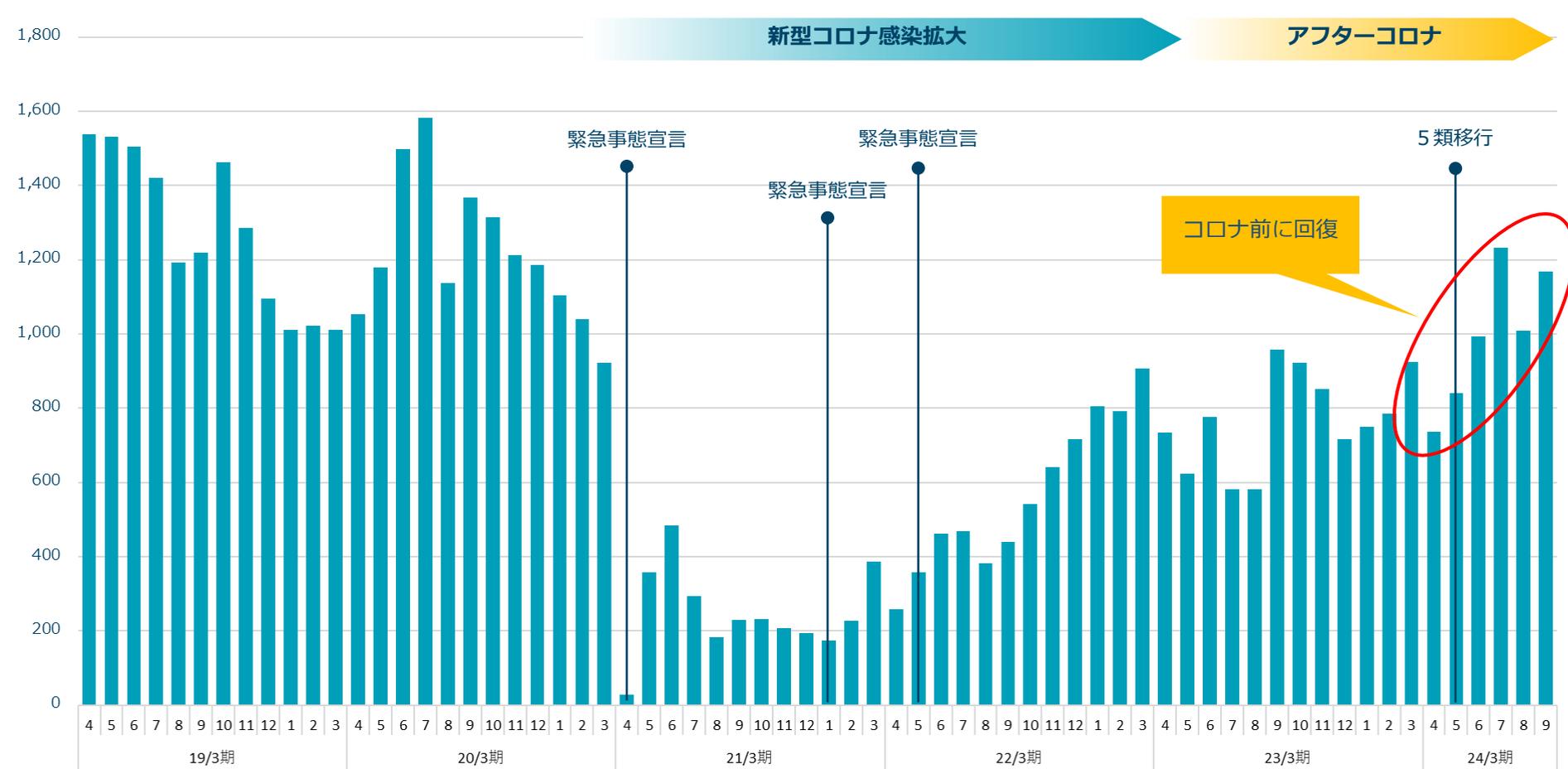


【上期比較】 退職数/率
 前期実績：279名/7.0%
 今期計画：298名/7.0%
 今期実績：272名/6.3%

退職率

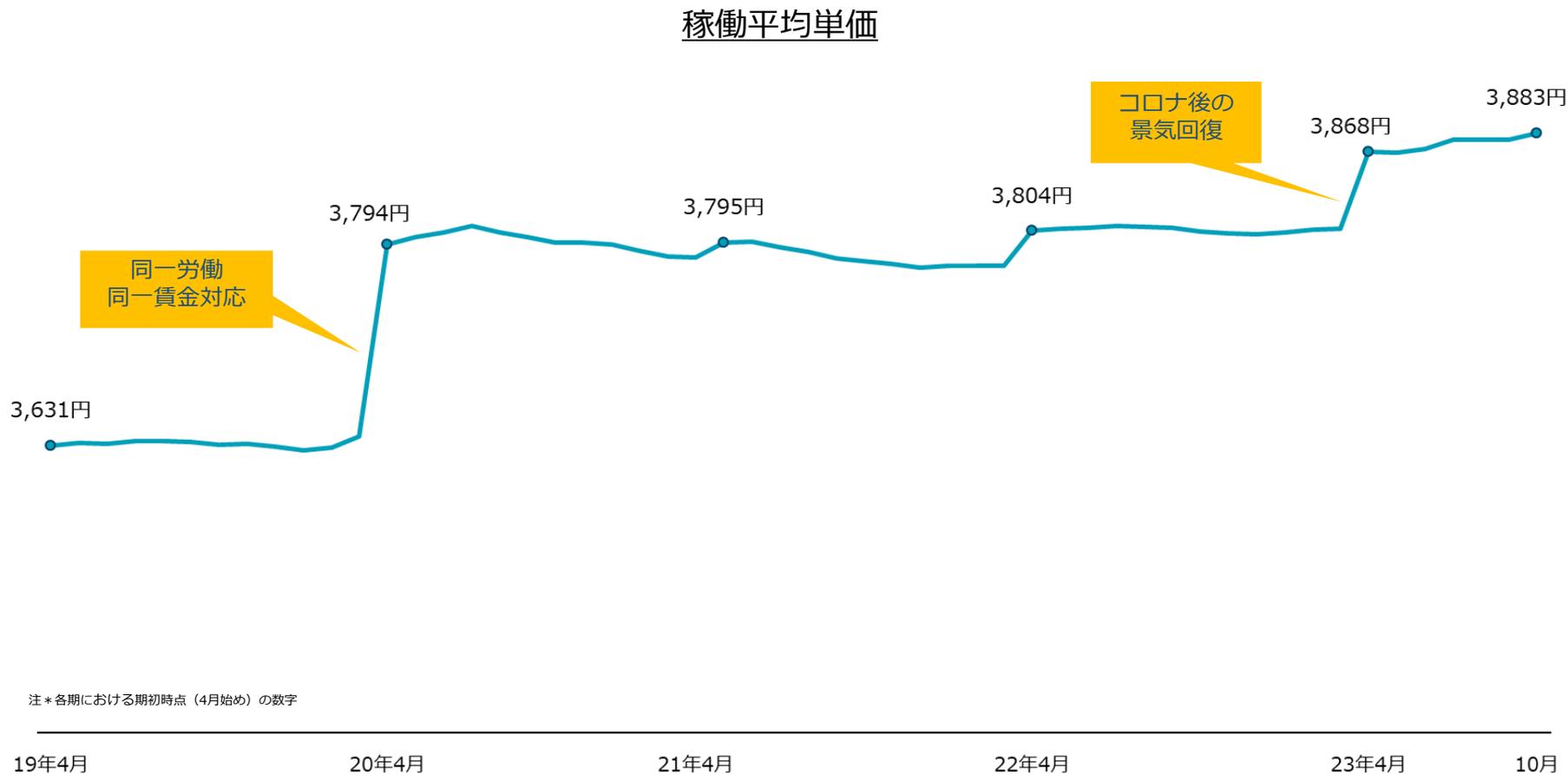
案件獲得数は、コロナ以前の慢性的なエンジニア不足の状況に戻ったと判断

案件獲得数（月別）



① 【稼働平均単価】

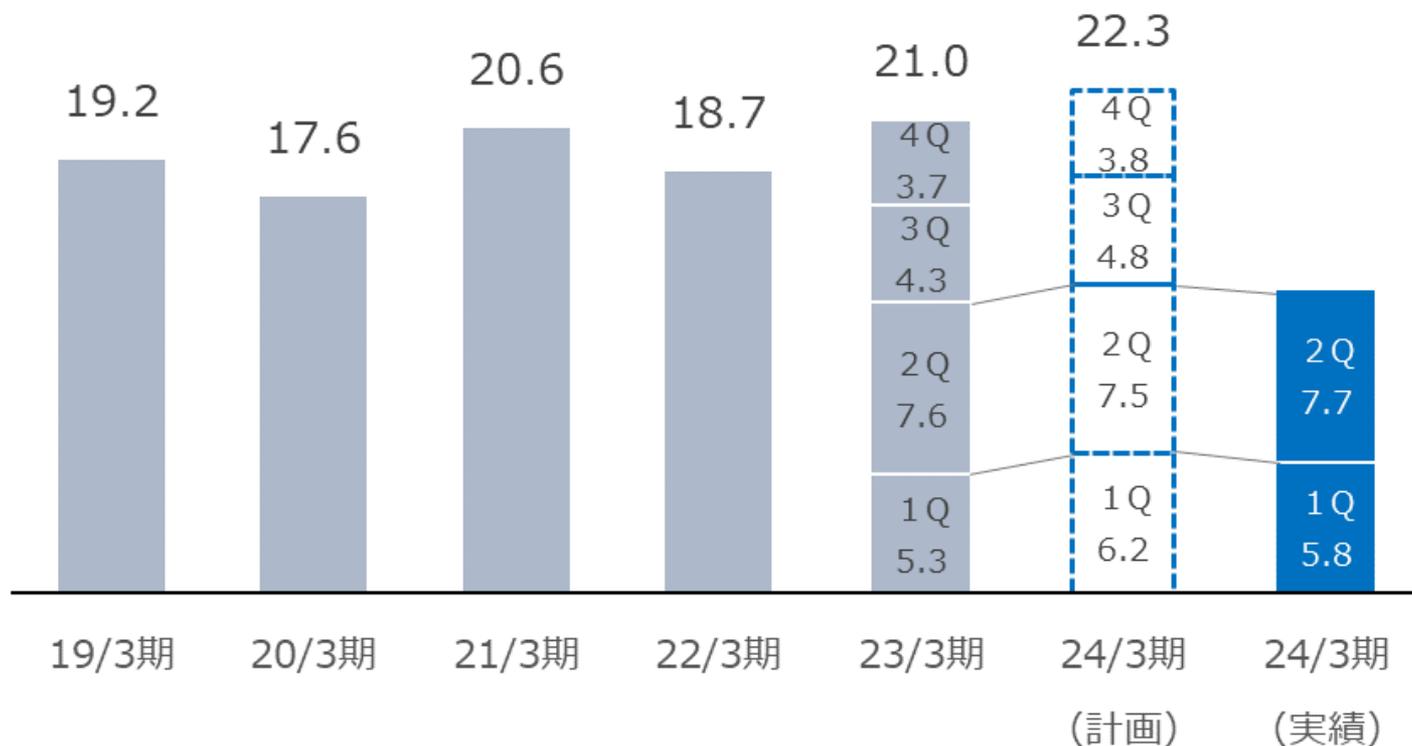
今年度の契約単価改定交渉が順調に進み、新規契約単価もエンジニア不足を背景に
継続して上昇傾向



① 【有休取得日数】

技術社員の有給休暇取得は保有日数を100%取得する前提として計画
上期累計13.7日の想定に対し、実績は13.5日

有休取得日数



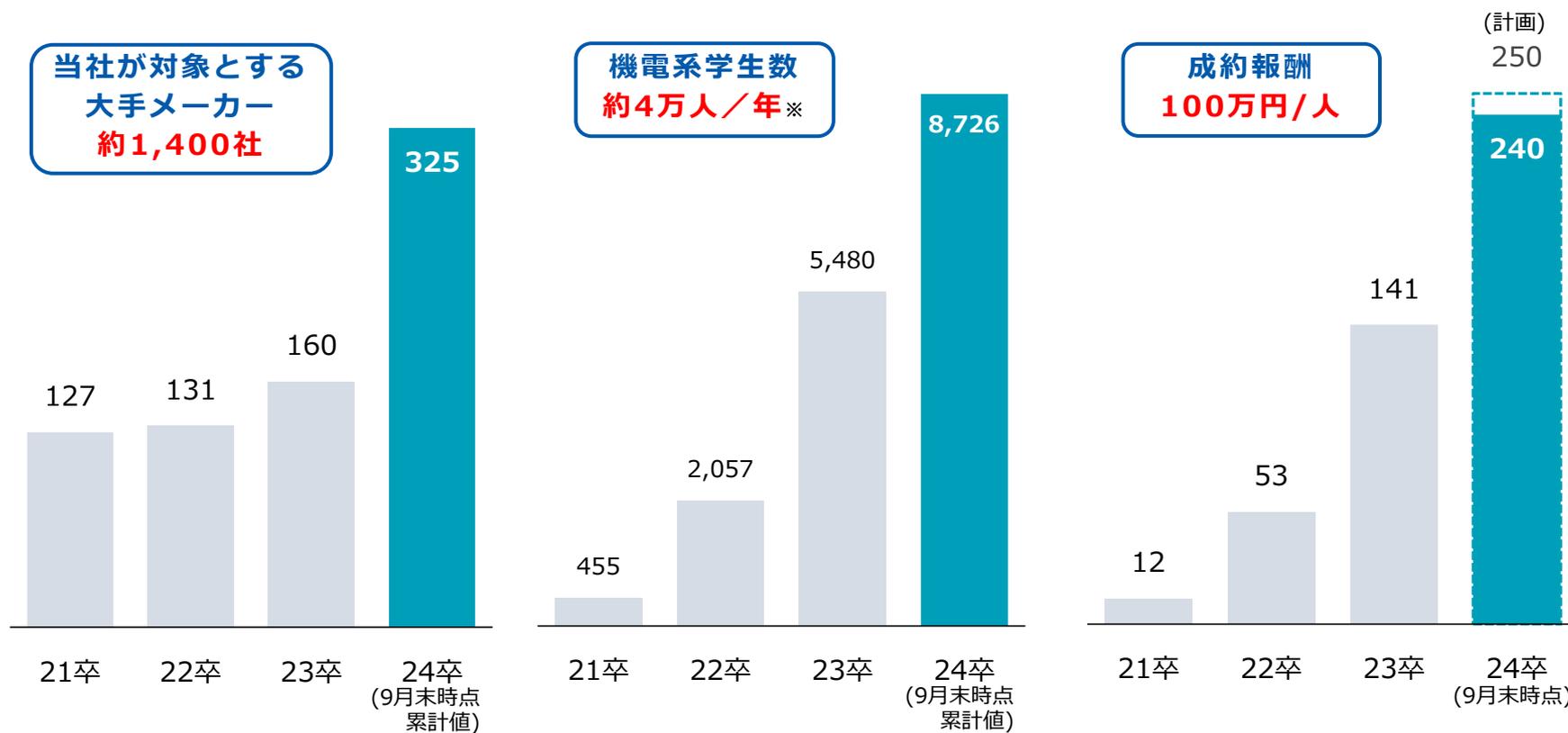
- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- 配当政策の変更、および株式分割について
- 【連結】2024年3月期 第2四半期 決算概況
- **各サービスの状況**
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- Appendix

求人掲載企業数、登録会員数とも前期に比べ大幅に増加。伴って計画の250成約を見込む

求人掲載企業数

登録会員数

成約数



※ 学生数は教育ソリューション（株）全国学校データ2023より当社推計

中期経営計画の「500成約」達成に向けて

① 「コグフェス」による、掲載企業の増加

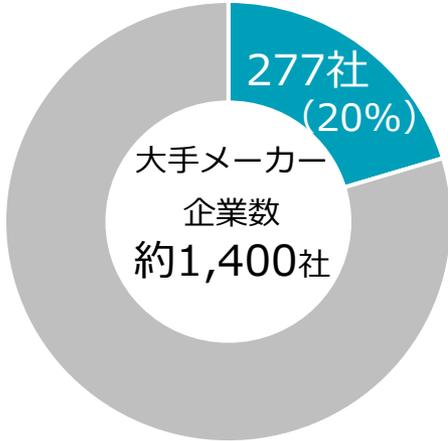
② 「エンジニア職セミナー」拡大による、学生登録会員の増加

コグフェス
CogFest (10月よりサービス開始)

365日開催している、メーカーのみ掲載の“オンライン就職フェア”サイト。福利厚生などの一般的な企業説明ではなく、メーカーの最新技術や製品に特化した内容で、自分の学んだ履修科目とのつながりがわかる新たな仕組み。メーカーでエンジニアを目指すきっかけ作りを狙う。

掲載企業数

※公開準備中含む。10月末時点



最新技術を
動画で紹介

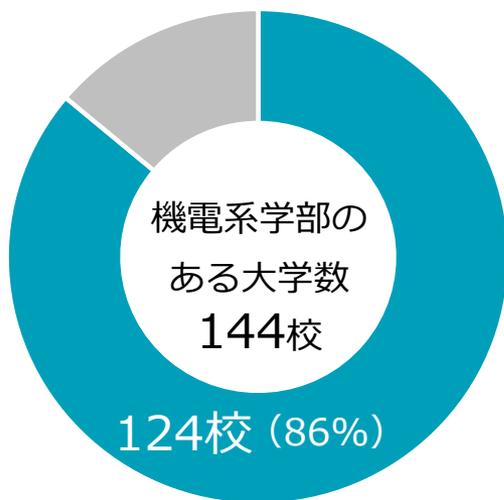
学生の履修科目との
マッチング度を算出



元メーカーエンジニアの当社社員を講師とし、大学3年生を対象としたセミナー。
実施の約8割は「単位取得」可能な授業枠の一環として開催されており、機電系大学における一定の認知と信用を獲得。今後、講師の増員による講義回数増加によって、コグナビ新卒への会員流入を増やす。

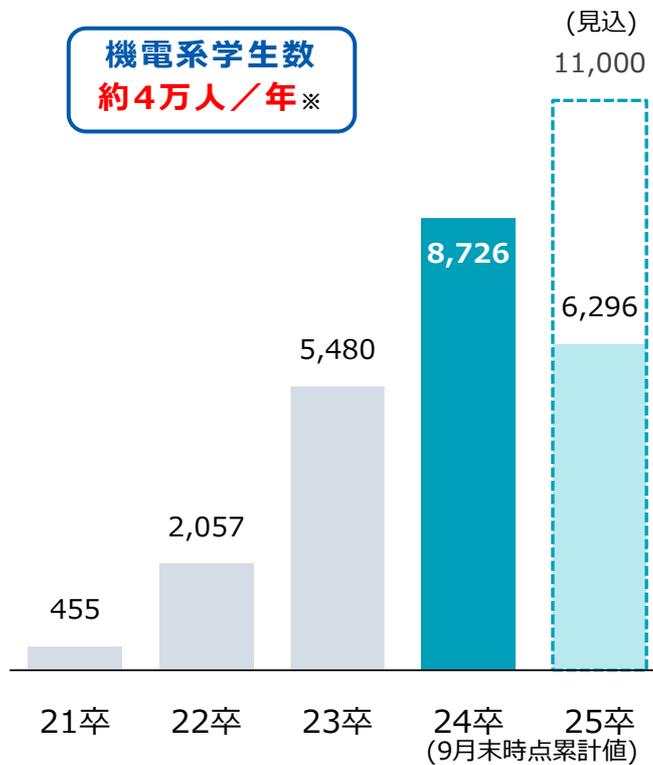
実施実績大学数

※ 9月末時点における累計数



コグナビ新卒登録会員数

機電系学生数
約4万人/年※

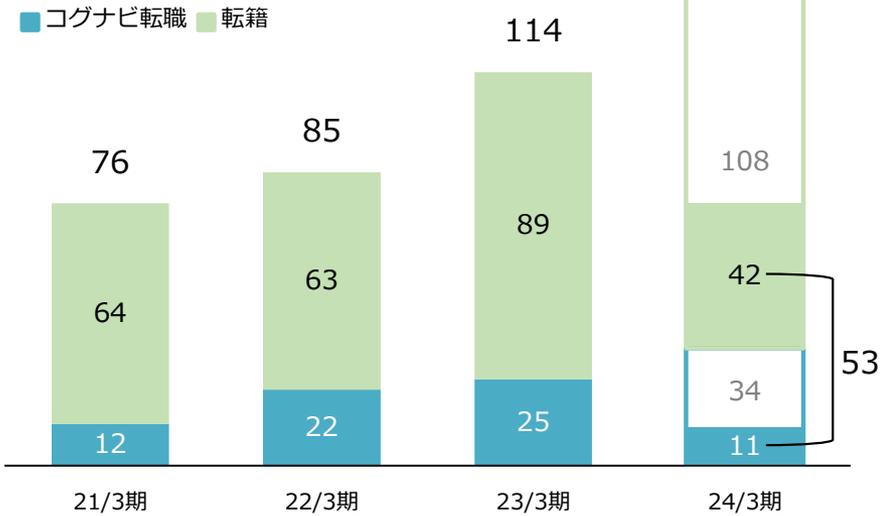


大学	中部大学
学部学科	工学部 機械工学科
講義形態	授業枠
セミナー出席人数	159名
コグナビ新卒会員登録数	154名

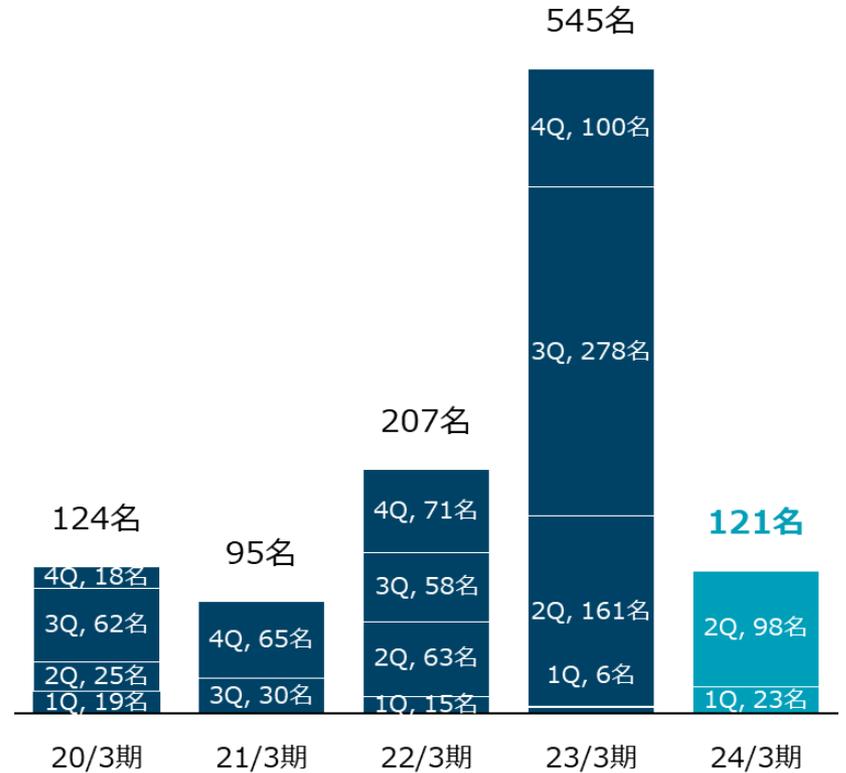
※ 大学数、学生数は教育ソリューション（株）全国学校データ2023より当社推計

- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- 配当政策の変更、および株式分割について
- 【連結】2024年3月期 第2四半期 決算概況
- **各サービスの状況**
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- Appendix

コグナビ 転職 成約数



コグナビ カレッジ 受講者数



- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- 配当政策の変更、および株式分割について
- 【連結】2024年3月期 第2四半期 決算概況
- **各サービスの状況**
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- Appendix

「インドの企業」として、
「インドの産業を支える社会インフラを創る」

インド企業の資本
(SRMグローバル社)

インド出身の
Managing Director

現地チームによる
システム開発

6月22日 インド初 大学生のための就活サイトオープン

インドの大学生 全員が就職できる世界を、
コグナビを通じて実現する

インドのマーケット環境に合わせたビジネスモデルを、現地スタッフが構築。
大学／企業のニーズ、また現地開発したAIマッチングモデルの応用性から判断し、
機電系学生のみではなく、全ての学生を対象とした新卒採用メディアとしてビジネス展開。

		日本	インド
マーケット環境	企業数	約34万社 (メーカーのみ)	約150万社 (全業種)
	学生数	約4万人 (機電系のみ、1学年あたり)	約4,000万人 (全学部、全学年)
	就職率	97.3%	40%

課題

学生が少ないため、

企業による採用が困難

学生が多いため、

- ・ 大量の応募を企業が選別
- ・ 就職率が低い

AIマッチングの考え方	スキルツリーを使い、少しでもつながりがあれば採用できる	大量のマッチングをAIが効率的におこない、採用効率を上げる
ターゲット	機電系学生 × メーカー	全ての学生 × 全ての企業 × 全ての大学

※日本のメーカー数は、総務省令和3年経済センサス-活動調査による

※日本の大学生の就職率は、厚生労働省令和4年度大学等卒業者の就職状況調査（令和5年4月1日現在）による

※インドの各数値は当社推計

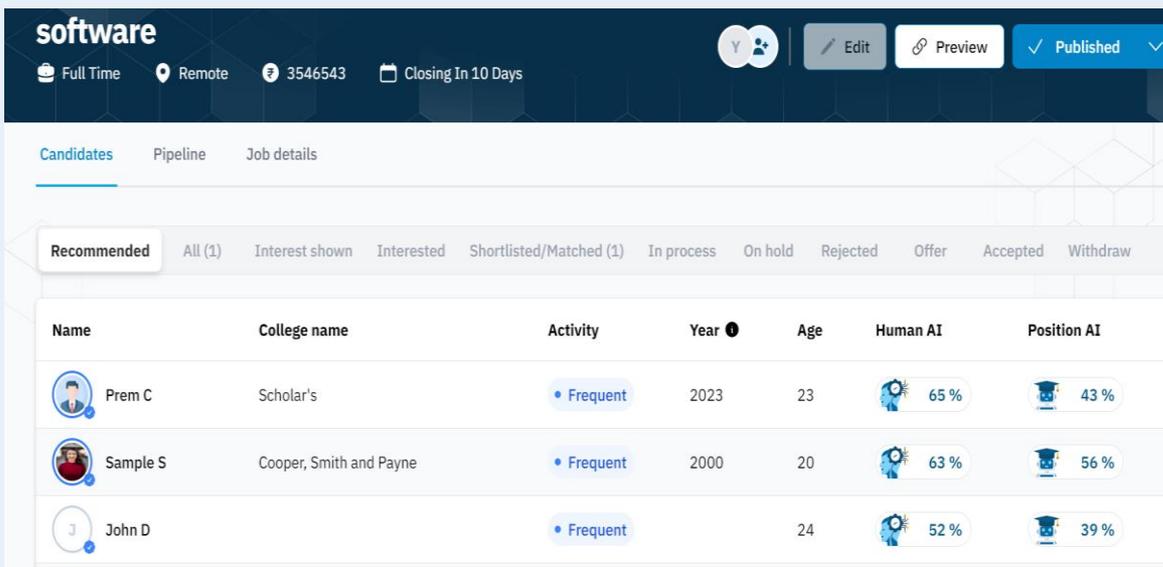
⑤ 3つのプラットフォーム展開

「大学」「学生」「企業」の3つをつなぐプラットフォーム型サービスモデルを構築



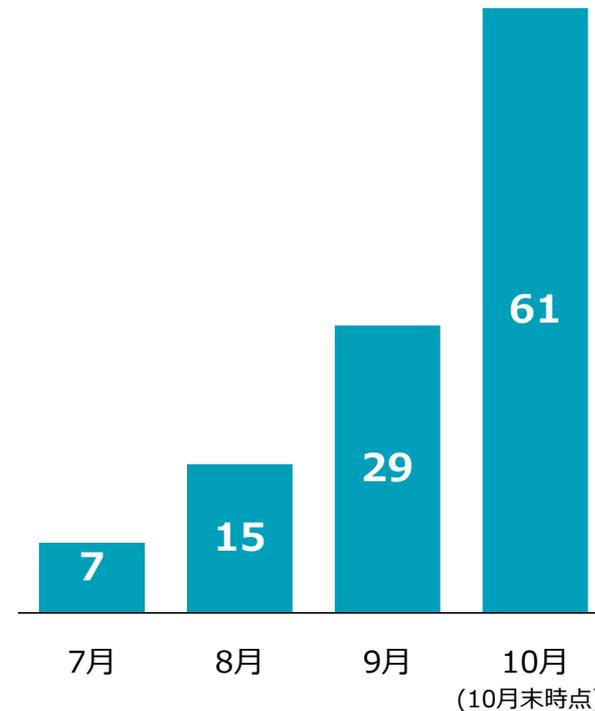
学生からの大量の応募に対し、求人にもマッチした候補者をAIが選別し、上位からリストアップして表示。採用プロセスの効率化を図る

採用管理システム 「Recruiter Portal」



Name	College name	Activity	Year	Age	Human AI	Position AI
Prem C	Scholar's	Frequent	2023	23	65%	43%
Sample S	Cooper, Smith and Payne	Frequent	2000	20	63%	56%
John D		Frequent		24	52%	39%

トライアル企業数



AIテクノロジーを活用し、学生の保有スキルと掲載企業／求人とのマッチング結果を提示。不足スキルを抽出したうえで、豊富なサポート機能で改善に導く。

就活サポートツール 「Student Portal」

【Position AI】



学生の保有スキルと就きたい職から、マッチするスキル／不足スキルを導き出す。

【Digital Profile Technology】



学生の保有スキルから、求人に合わせた内容で最適な履歴書を自動で生成。

【Human AI】



学生の性格特性とソフトスキル（論理的思考力、創造性、協調性…）を診断。

【Skill Assessment】



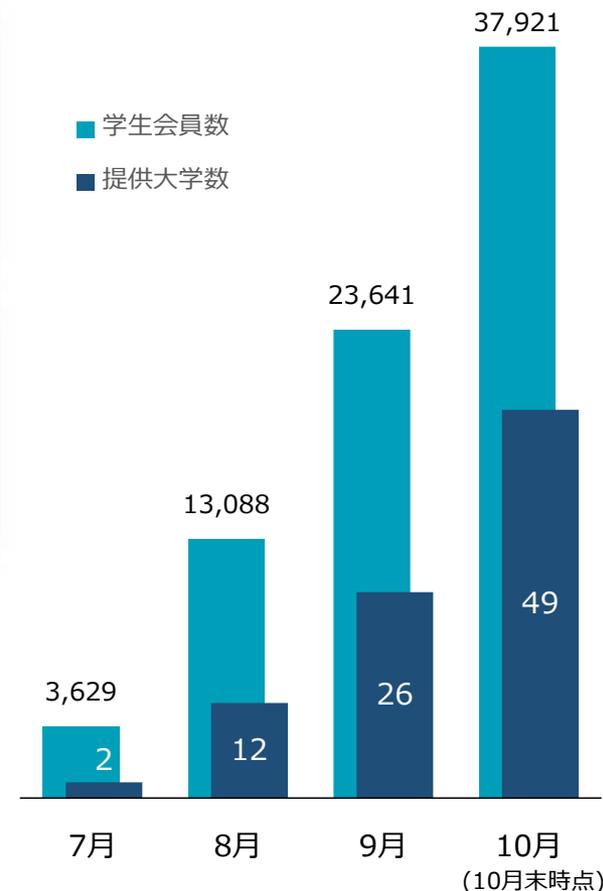
スキル評価テスト機能。学生の得意分野を特定し、希望する仕事に就ける可能性を見出す。

【Video AI】



AIを相手に採用面接の練習ができるツール。スコアと改善点のフィードバックを提示。

学生会員数／提供大学数



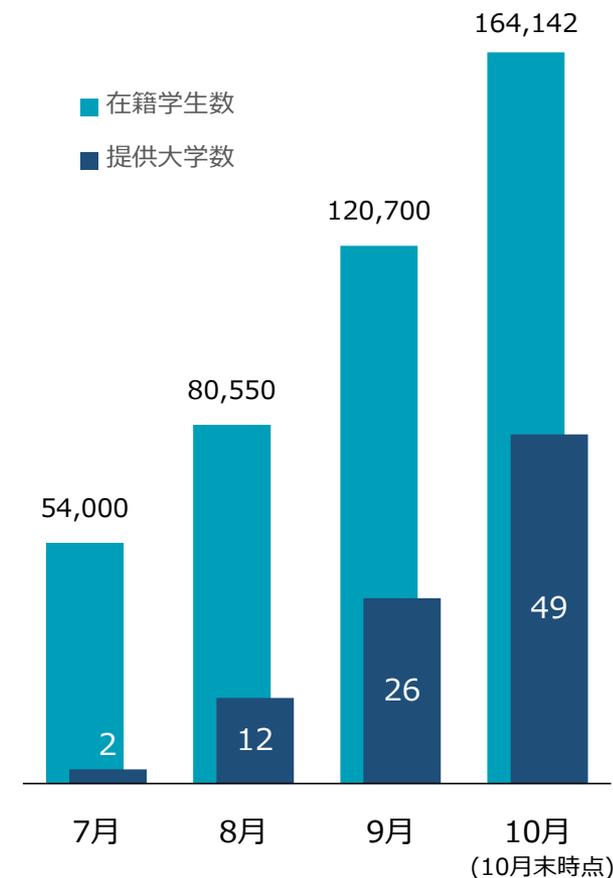
就職課向けに提供。学生の就活進捗状況、企業からの求人情報をデータベース化。双方をAIでマッチングすることで、大学全体としての就職率向上を図る。

12月サービス開始予定。学生会員の提供元大学に対し、本システムのセット導入を打診。

提供大学数／在籍学生数

学生／求人管理システム 「University Portal」

Name	Contact	Degree	Verification Status	Starting Year	Graduation Year
LN Launch Nine	+919999999999 moksh+launch9@eora.com	Bachelor of Arts (B.A) Arts	Pending Verification	2020	2024
SK Satyam Kumar	+917240241994 satyam+444@eora.com	Bachelor of Business Studies (BBS) Commerce	Verified	2018	2022
LS Launch Seven	+919999999999 moksh+launch7@eora.com	Bachelor of Engineering (B.E) Engineering	Verified	2020	2024
Virat Sharma	+917828827222 yogesh.m+virat@cognavi.com	Bachelor of Engineering (B.E) Engineering	Pending Verification	2020	2024
VL Vijaya lakshmi	+919856563567 vijaya.l+dev@cognavi.com	Bachelor of Engineering (B.E) Engineering	Pending Verification	2021	2023



経済学者であり、慶應義塾大学名誉教授を務める竹中 平蔵氏が、
当社のアドバイザーに就任（2023年11月より）。

竹中氏は、当社インド事業および新卒紹介事業に強い関心を持っており、
その豊富な海外事業経験および企業経営に関する深い知見を、当社事業推進のために
活かしていただくことになった。

具体的には、当社インド子会社（コグナビインディア）の事業運営に関して、国内外の
環境や事象、経済動向、各国の政策をウオッチしている観点からアドバイスを頂き、
事業展開のスピードアップを進めていく考え。

竹中 平蔵氏ご経歴

ハーバード大学客員准教授、慶應義塾大学教授などを経て、
2001年小泉内閣での経済財政政策担当大臣への就任を皮切りに、
金融担当大臣、総務大臣、郵政民営化担当大臣などの要職を歴任。
2014年に国家戦略特別区域諮問会議、2016年に未来投資会議、
2020年に成長戦略会議、2021年にデジタル田園都市国家構想実現会議の
メンバーに就任。



- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- 配当政策の変更、および株式分割について
- 【連結】2024年3月期 第2四半期 決算概況
- 各サービスの状況
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- **ESGの取り組みについて**
- Appendix

E

本社オフィスでの再生エネルギーの積極活用



S

機械・電気系学生向け「エンジニア職セミナー」活動を継続

大学でエンジニア向け企業研修、リスキリングの企画・実施

スキルや学びをベースにした独自のAIマッチング技術の活用

レスキューロボットコンテスト、RoboCupジャパンオープン協賛

日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドへの投資

ノーマライゼーション事業の推進

インドと日本の大学交流を支援
(印日学生の短期留学プログラム)



G

バランスの取れたガバナンス体制の維持

サイバーセキュリティへの対応



インドと日本の大学交流を支援 印日学生の短期留学プログラムを今秋開始



インドの私立大学として、有数の規模を誇る「SRM大学」。
同大学と連携し、日本の工学系の教授と学生を同大学へ
招待する企画をスタート。
同企画では、同大学の最新の設備を有するキャンパスにてプログラム
を実施予定。



滞在中は同大学キャンパス内の宿泊施設で過ごし、
キャンパス見学や授業への参加を通じて、同大学の教授や学生と
交流することが可能。
また、現地企業の訪問やインドの文化、歴史にも触れることができる。
同プログラムの初回参加については、当社が費用負担※。（※個人的な費用は除く）



SRM大学（SRM Institute of Science and Technology）のご紹介

1985年創立。インドの私立大学の中では最大の規模
（学生52,000名、教員3,200名）かつ学カレベルもトップランクに入る大学の
ひとつ。チェンナイをはじめ、インド国内6都市に計8つのキャンパスがあり、
6つの学部（工学・技術、経営、医学・健康科学、科学・人文科学、法律、農
学）を有する、総合大学。
日本を含む世界各国の企業との共同開発や、大学との交流プログラムなども、
積極的におこなっている。



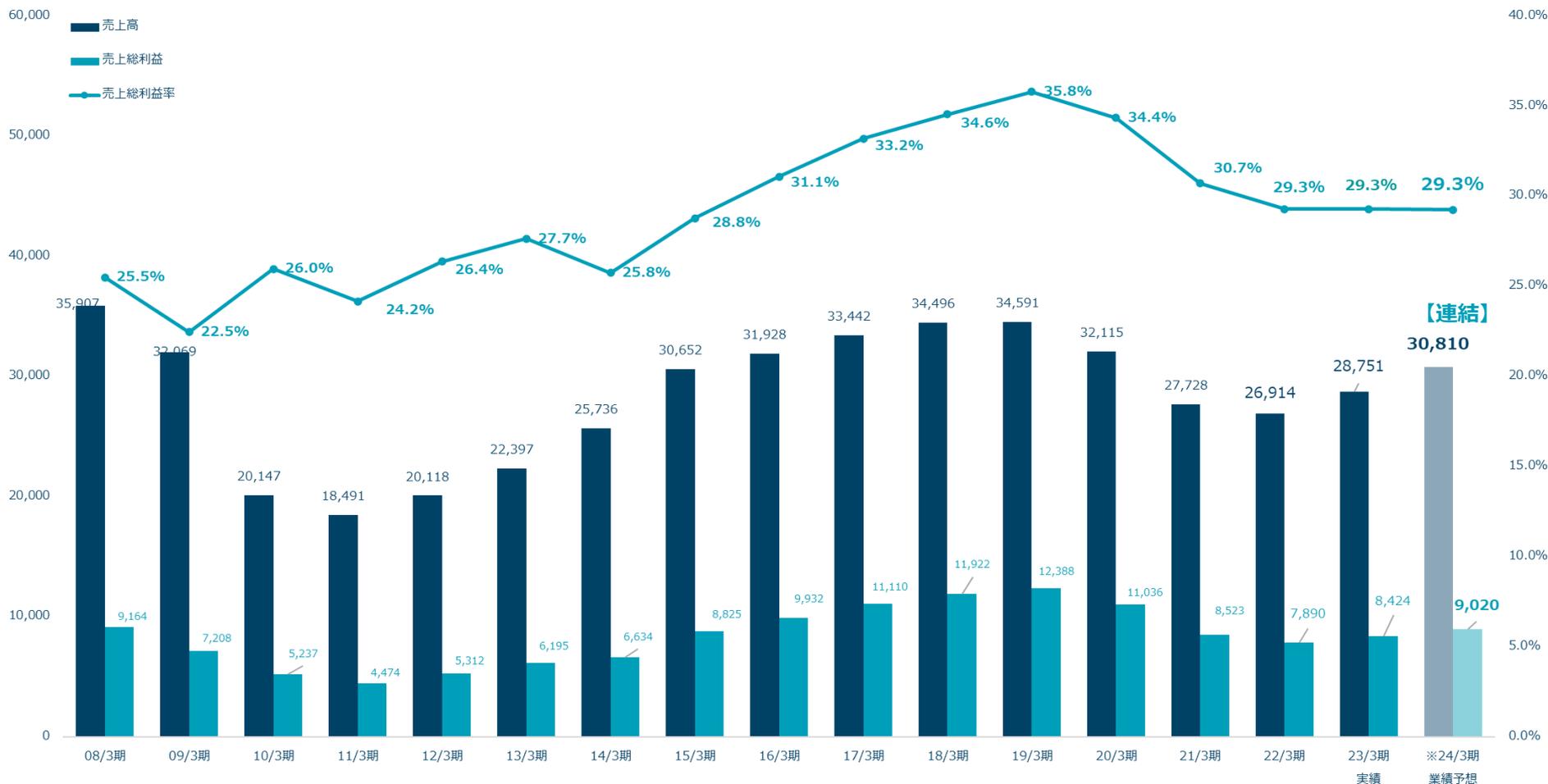
※SRM大学の最新施設

- 資本コストや株価を意識した経営の実現について
- 配当政策の変更、および株式分割について
- 【連結】2024年3月期 第2四半期 決算概況
- 各サービスの状況
 - ①コグナビ派遣
 - ②コグナビ新卒
 - ③コグナビ転職 ④コグナビカレッジ
 - ⑤コグナビインディア
- ESGの取り組みについて
- **Appendix**

2024年3月期より連結会計に移行

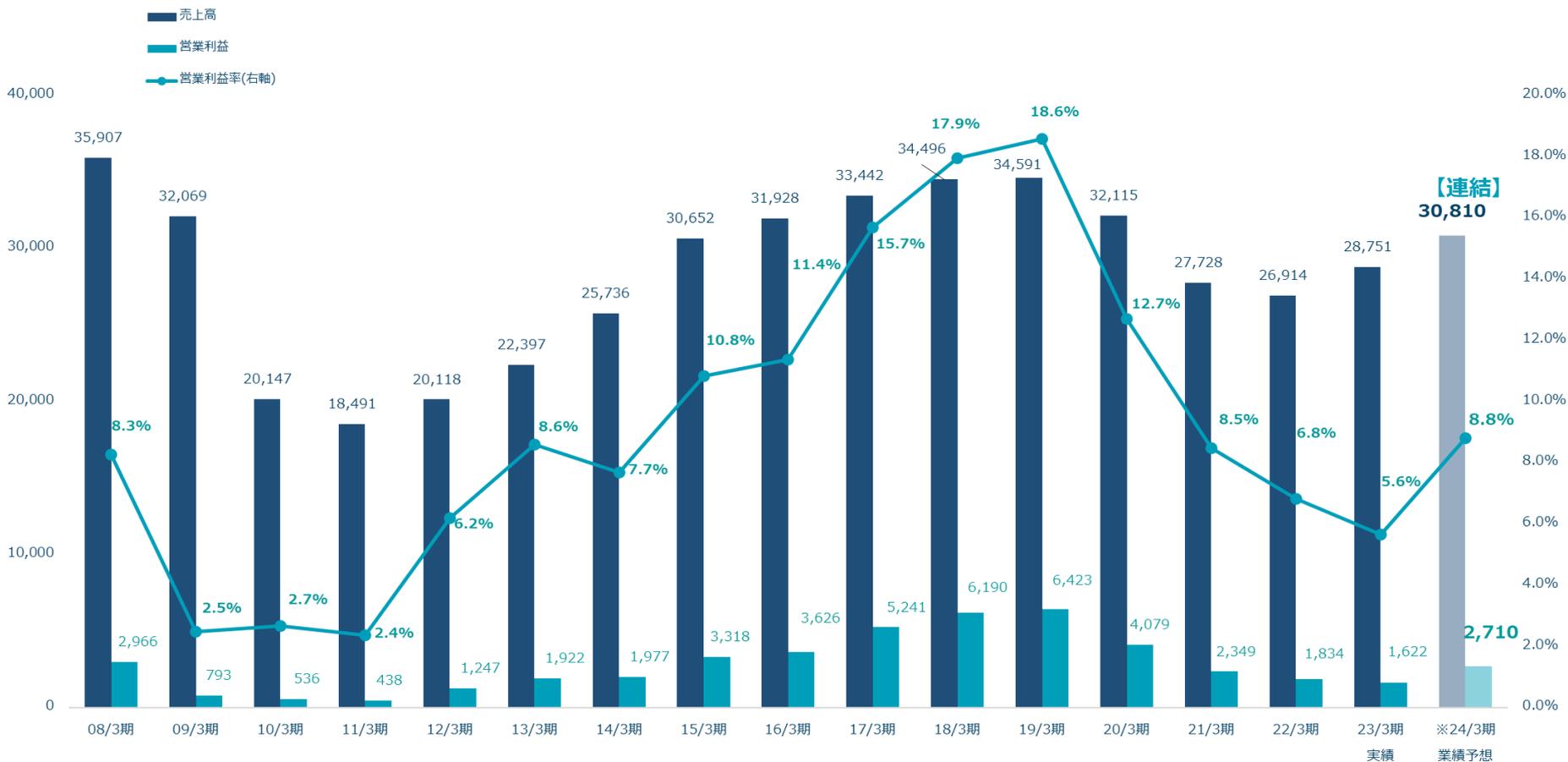
売上高・売上総利益・売上総利益率の推移

(単位：百万円)



2024年3月期より連結会計に移行

売上高・営業利益・営業利益率の推移
(単位：百万円)



2024年3月期より連結会計に移行

損益計算書 (百万円)

	実績		
	22/3期 【単体】	23/3期 【単体】	24/3期 2Q 【連結】
売上高	26,914	28,751	15,304
売上総利益	7,890	8,424	4,458
	29.3%	29.3%	29.1%
販売費及び一般管理費	6,055	6,802	3,181
	22.5%	23.7%	20.8%
営業利益	1,834	1,622	1,276
	6.8%	5.6%	8.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,248	1,163	856
	4.6%	4.0%	5.6%

貸借対照表 (百万円)

		22/3期 【単体】	23/3期 【単体】	24/3期 2Q 【連結】
資産の部	流動資産			
	現金及び預金	13,690	10,395	10,562
	流動資産合計	17,359	14,492	14,823
	固定資産			
	有形固定資産	459	435	422
	無形固定資産	1,387	1,391	1,254
	投資その他の資産	1,562	1,380	1,291
	固定資産合計	3,408	3,207	2,968
	資産合計	20,768	17,700	17,791
負債の部	流動負債合計	8,793	5,728	6,058
	固定負債合計	-	-	-
	負債合計	8,793	5,728	6,059
純資産の部	株主資本合計	11,974	11,972	11,564
	純資産合計	11,974	11,972	11,732
	負債純資産合計	20,768	17,700	17,791

キャッシュフロー計算書 (百万円)

3	22/3期 【単体】	23/3期 【単体】	24/3期 2Q 【連結】
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,456	1,515	1,296
減価償却費	451	336	199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△838	△594	△91
有形及び無形固定資産の取得による支出	△615	△499	△85
フリー・キャッシュ・フロー ¹	618	921	1,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,405	△4,215	△1,108
現金及び現金同等物の期首残高	14,478	13,690	10,434
現金及び現金同等物の期末残高	13,690	10,395	10,562

注*1営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

2024年3月期より連結会計に移行

〈KPI項目〉	22/3期 【単体】					23/3期 【単体】					24/3期 【連結】				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
・売上高（百万円）	6,599	6,469	7,017	6,828	26,914	7,111	7,001	7,362	7,227	28,751	7,720	7,584			
・営業利益（百万円）	444	228	720	441	1,834	477	▲139	679	605	1,622	658	617			
コグナビ派遣	・在籍技術者数（名）	3,961	3,858	3,840	3,808	—	3,904	3,914	3,964	4,019	—	4,190	4,284		—
	・稼働者数（名）	3,630	3,678	3,708	3,733	—	3,834	3,857	3,913	3,927	—	4,046	4,137		—
	・稼働率（%）	90.6	94.1	96.7	98.0	94.8	97.9	98.5	98.5	98.2	98.3	96.5	96.5		
	・稼働時間（時間）	160.4	153.7	163.3	157.3	—	157.7	154.3	160.6	156.7	—	157.6	153.1		—
	・派遣単価（円）	3,791	3,780	3,776	3,777	—	3,807	3,806	3,802	3,826	—	3,872	3,879		—
コグナビ転職	・総会員数（名）	14,323	14,613	14,955	14,945	—	17,226	18,639	19,322	19,600	—	19,816	24,171		—
	・求人案件掲載事業所数	317	330	359	373	—	401	414	391	377	—	348	277		—

注* 在籍技術者数、稼働者数は、四半期末日時点の人数。稼働率は該当四半期の3か月の月末時点の人数の総和で、稼働時間は該当四半期の3か月の月稼働時間の平均で計算
 * 派遣単価は、各四半期末時点の契約単価の平均値
 * エンジニア派遣サービスに関する各KPIについては、退職者を除く正社員の在籍技術者を対象とした集計値
 * エンジニア転職サービスの総会員数は、当資料から四半期末時点の有効会員数（退会者等を除いた会員数）

本資料には当社の現在の見通し、予想、目標、計画等を含む将来に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、将来に関する記述であることを示すためにすべてではありませんが、「信じる」、「預期する」、「計画する」、「戦略をもつ」、「期待する」、「予想する」、「予測する」又は「可能性がある」というような表現を、あるいは将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他「類似した表現」を用いています。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績その他の結果は、将来予想に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。従って、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更又は訂正する一切の義務を当社は負いません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

本プレゼンテーション資料は、当社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、当社及び当社の普通株式に関する全ての情報を含むものではありません。当社の普通株式への投資判断は、当社が開示している資料をご覧ください、そこに含まれる全ての情報を検討した上で行ってください。



株式会社 フォーラムエンジニアリング

お問い合わせ先

株式会社フォーラムエンジニアリング 広報・IR部

東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー15階

メール：ir@forumeng.co.jp